商省に電協議會

分類所得稅は五

割

遊興飲食税十割引上げ

《連続に留り生目をある際に最近遭しく吸入の増加せる、日備等務者等の一般自由等務者の所得に對する課稅がどに所得税の利よけに即應して宏人表、勢別な人表、監察後、相繼級及び臨時和複形にいてもそれぞれ根率引よげが行はれるが今

aoorあるが、増税の方向は直接税の増徴を中心に間接税についてを浮動購買力並に消費規正

ン大概省において飲意地を認めを認作板に留うて來たが、今回一應具際繁を誇るで至うたので、4 一日の定の際職に『単恣意に記して表面歌質力吸収、制動の班間を目金として導入十四通常議會に直接投を中心とする乱秘の増働緊を提出する方針を関かにし、

帝國外交代表

以が十五日クロアチャの首府ゲー來をものであるトイツ大便館一等選記官三浦和一として歐洲新秩

一億圓

臨時租稅措置法|

協力を切望

である所によりその領失を追避すで弱を受けたからのは命令の定

洋經濟研究所編

護失及は紛失したる離別につを所製の

八南洋地名辭典等回卷

印度。安那(45別四五二貫・変價(影込)一五・七二条潮及鴻鎮

文別線し地会により検出する財徒自分酬典である。 の混動たらしむると同時に一般邦人の修訂に置する相 物の混動たらしむると同時に一般邦人の修訂に置する相 本憲は関帯を謝潔とする事業家及関注研究派に関して好 本憲は関帯を謝潔とする事業家及関注研究派に関して好

理•詹田所哲太郎編

からり を 化 學

活性 炭 素

丸 善 株 式 會 社

がないが

法中改正法律案要編 企業整備資金措置

書堂 松

店

常野哲人・乙竹岩造他著

- 法律案要綱も發表

戦争、地震の一

文は資源により工場などを解形があ場合における専用門落は飲 所の気がな所により信事者協議 によって、日本のでは、日本の

時 漢 漢 得

で祖に宗教前間を総督することで祖に宗教前間を総督するとという。

補助期

第四、特別會計の廢止 り改正すること。 ・大阪省別金部 会の原理機を引上でること 無入金に関する法律 一中左の選 製館計賞出の財源に充つるため に關するもの

技術家の大塩を急速に凝生する問題等。
基の今音物館、平服の武人、腹手と烈雄、
基項衛の日本的住港、風附きこそ健財、工
差技術の不強、名人の授順、影響と経ば、
工 **廿五日頃蘇冀 個二國十綾**

書治。明。陳

清加行者 では、

橋屬、松剛等道代畫家の最高峰を論す。 て游くその衆を滅ぐ。敗むるところ玉堂 村松相風邪生の大著、全大格の刊行なり

化學工業製造工程圖集

協會區 東京地方燃料局長 後藤 一雄監修

| 今勝瀬新五氏(朝鮮製機副社長) | 今勝瀬新五氏(朝鮮製機副社長) | 中一日『ひかり』で平常地方へ

息

4 全年 大田 一世乳不足 ――ビタミットと下の締給が効く 吹い エンバーが効く 吹のはこれらを総合して 公のなっただ。

【容內要主】

科學

B 本社

が出版の点である。 同時名

前心せる如く絶動不敗の我が

サラモア、乾燥アツツ、ギスカ

8曲兵徵本日 9.8 【備考】本要測は強質薬の決定に 件の必更を生ずることあるもの 特別強計在及び海軍工廠置金額

論 刊新 社 央

阿部國治書 さ示唆せる名階。
・ 一部がある。
・ 一部がある。 向を示せる國民潛傳統治の書。 は、國力増延の智雄作協略を克服する方 ので示せる國民潛傳統治の書。

劈勵者年金保險在中改正法律案后 か二法律案要綱二面へ

ルビ丸前膊京東 番四三京東番扱

本朝整人傳命木價四千八〇

驀進せよ航空機増産へ

を忘れてはならぬ。 りついえといる事實の重大意義

た。廿年來今日あるを期して準

の深刻の気ある。 何を意味するか。ことに現職局 つかつて來る所以のものはそも

七十一年以上を顯沈破の大戦景

於いて、兵員を消滅せる敵艦艇 壁せる一部の酸を邀録、十五十

沖航空職に至るまでに収鑑七、米十二月五日のマーシャル諸島 歌は十月廿七日モノ島上陸以

た地、朝鮮、台戦および演列図の

満食糧自給に

機的概念の下に各地域の常給の関座をはかることとなかり

内地、朝鮮、台機および瀬洲國の各地域を選ざる食糧の確保を目金とし首機的なる運転の下に 生産資業の樹立蟹頭をはめるとともに一 情報局が衰む、日瀬を通じての國民食風催保の國家更識高々楽切なるものあるにかんがみ左記要綱により農職者に協議會を常配し 日滿食糧自給へ措置要綱決る

□ 房

参紙、苦汁を事賣に

學賣法中改正法律

特別會計の改廢又

統合、新設は五件

技術の

が、原像の発像、 はこれを表するものとすること である 2 ととを表するものとすること 歌術を関声性表演者の最終を基 ことを表するものとすること 間五年延長

宮城晋五郎著 東北帝大工學部長 工師

新四8的三、版解·**阿**夏、利

する人口をも物体分類せしめ

る別、京城を十三のプロック料派では大阪十三に分けてる

めにも、変を都市防盗のため、都市の国神なる運動のた

職一定の企業のもとに組織的

けである。然とこの「ブロツ」を終にしらは千平方れ始い首

人口疎散と都市の疎開

いては再び過大和市の取

を戦へ今これ全國民は本然の日本人の概要に立返り一人降らず駆逐波の

・ケートリックラフ、マキンの四極級を最高と続して放棄し削損の延にに対象に対象に続する職場を見ることをはして放棄し削損の延にに対象を

友成佐市郎少將放送

マキン、タラワの陸戦隊を偲ぶ

御物職を増昭の入ち一同時を合む

に見る神兵の姿

億蹶起、勇士に續け

株断、披屋水断、陸垣廊町、廊券 の木亡人英子さんが長男裕遠の手行以本部、航空本部、燃御廠、帰 ぐも 戦死した 故佐々木布爾大佐

では長さ月(昭和十八年度前中級) 一般とはは、大多八月廿九日中)の表情が現場が記述す。日本を 表面にマプリヤ神機総合以際に関が収録が認定はは、日本を 表面にマプリヤ神機総合以際に関 日本の (1975年) と 地域に マプリヤ神機総合以際に関

が、この日晴れの賞狀を受けた浩

動する質飲農業なるもその程度やなは朝鮮風深受賞者は、國軍に

晴れの受賞百六件

陸軍技術有功賞授與式

多の防空服装 ▲ **要の座常--人* の以

◆日本帰道記…当代表表

海に征く少年兵職際職員 本方職の女性漁業部隊 を性漁業部隊

ル島沖

あずな はん てい は いっし この る 人きてと 高るべい なぼる 師信 遅 て あの日・ しうな 歓武 輯編戰決

ない。 ないできる。 ないできる。 のには、 のでは、 の

多金ラしょう

▼ 朝鮮簡易保险 「朝」「何」「時」全

五部館の町上勝頭を機関しとある「人表りことに駅出示針着の大漁町「漁賃される。至うて駅間状態の標本部を装に「三年の運転をもうて、な機能を排ひながらる部別に上限。も隣の観機闘が沿荷に物書うたか

全身全靈祖國

無扇が将は、最回線 に避くを改入一代の 回目としく網公が姿 川に出戦した心臓で

敷板があるも 京城計理事務所京城計理事務所

働らかう

素肌美で

ぁ

住宅艦関打合せ

事業促進協議

敵飛行場等を猛爆

=」--ギーヤ 航空決戦熾烈

大宗 忠明 の

一、十八日年明四日24、月日など一八、廿日末明県中部衛衛機士機攻

際はこれを激し、一機を顕成炎上ラバウルに死虫、わが海軍戦闘機

のため、米部の中国軍制省職会主催の大路は在他地震協議を

廿三日商議で

横巾一尺八寸 大五尺一寸(共立と) 一軸四圓八十銭(第725三十銭 第十六十銭 カッセ双は接替東京三四四六五番にて 御拂込下されば春金次朝青留小包として直送す 東京電子市場番の下月に大海 東京電子市場 (第725三十銭 第725三十銭 第725三十銭 第72六一寸(共立と)

安産のために

ワタカルシュム錠

Kanasa では「安産のために」の工作学

勞働者年金保險法給付內容擴充

)遺族年金支給書に子友割

上被保険過ぎる女

二法律案要綱(讀書)

・台科を昭生年金県始末と改む

たるものとすると共に任意的括。保険制度の遊響員はこれを被保険者、女子及び五人以上使用事限は、女子及び五人以上使用事

つて以來六ケ月、鐵後一個の備中を鮮血に染めて二千の神兵が

山電話・北海の孤島アツツの

英靈に報ゆ途は増産

南溟の玉碎に林大佐語る

る者中とてに部隊職人を記録す

雄叶びだ、鷹鼠せよ田頂

烈なる決戦に明け戦闘

概に燃える好里の別が温

しゆく、この赤賊こそ明

の取別タラワ、マキンの

の部りを叩きつけるのだ

弾丸と なつ

長から・取時物質の不足とつけ

の確めて勝利の白まで白

会の貧弱を肺る祭養食品として珍

値上で近く出廻る明太子

れる明太魚川(明太子)は明

新公定價は 從來一本建で、巨欠五 「髪であつたのを欧正によって三

比烈な玉体を、年末

る、米英を職滅しる、

ところ一京い

城月

民館大二

講一時堂半

應募資格

蹶起大會

朝鮮放送協会指定 原線機器製作所 東亞の構整装置 東亞無線電化研究所 宗教自領の、またの2月 東京 下 の 第

序

大次人は明治

建维

| 総数安心シテスグオ手献下サイル | 41 年 | 1 日本 | 1

納基金七

府

花歌 劇團事務

所

現別國大海府自居與大 財 收回 助於 排 紹貳 期 以 三般 其中的 大縣 年 达昌 本化金金亚次岩昌經濟企 之一 酒

女性毎月神パオー

×光線・入院室完備 電水8.647 戦闘近六・京城府廳北一丁

第四回營業報告

所

一、 赴任豫定 球用後一週間以内(総任の際は過去経明督及一、 本任豫定 球用後一週間以内(総任の際は過去経明督及 一、 存 週 初任月以内和人〇〇剛半局人心〇颐島度(京任書に以佐頼者安倉寺)由日 仏智団十六 京城職業紹介

員大募集

(一) 身體組織なる満二〇才以上四〇才迄の

(C者除免役兵 開

かれた志願の途 熱誠に應つ

勅令けふ公布

らぬので本所と関、 観路阿記

闇の撲滅へ

鍾路署で懇談會

加して機関の難と限づた九年神の一紀の朝くの後じい活躍をその目で

から一日間に重り、継承統制 れた資格であると興路器では廿日

特國の不被の大阪県を建へば一

八用食を强化

これによっで必要以外の外間や歴

地に新公園決定を持つてゐた明末一走の街に閘山堰網餐保に複集され「炉、去る廿日同保に自首した 関が皆示されたから、今後は生誕 不届者 一人 押し追る師 | 廿回程度の不正利潤を喚げてゐた

の丸の翼に合掌 真珠灣攻撃の朝、松村智

・十八日、選別口に吹いた 見るべきものがあり内服、第三人

京

B

民 報 新

聞社

を観び出るなど、その熱列な農民

管業用への配給「整へるであるうごとを狙うを施数

場合を敗正して

長役館除治でも本人の志願によって

、整衡の上陸軍部隊に

職人し得る恵を指くこととなり、

廿二日官報を ではこれら民役免除者の整個の熟碗に感激してゐるが、陸軍では今回ごれ等監想が賊の士の熟練に應へ種々研究 こをり、干壊網の東氏の如きは規則を改正して私選兵役免除者の希望を容れてほしいと訳へてくるほどの實情で 能取事が勃命するやその要領は益々無効となって或ひは投審機関で或ひは直接最務質局に面膜等となって現はれて來

し得るものは钢艇、台殿同胞の

く熱意を

歌戦の開催に さきだ 台とになってある

断然多

內地半島學徒檢查好績で終了

ーセント、語・公

【無附】打ら職く大阪 即市民の撤金機製は

/多類に常一線へ送ることに何よりも飛行機を一

『頻適じそ英雄に融へる唯一の近号である。と記述の各種域での原原心をいやが上にも燃えたくせてあるが兵域基地半島は 「タラワー「マキン」所に守時間の北烈果敢な玉孫は銃後一個 い盆々決院を開め。 跳後は職場で玉杯するまで10 関連を燃む 草鞋履

の機能を頑固にし下から燃え上る力を原樹するには前民を始してあるとき見機道では三百五十萬道民が一人々久至降する 促すため十一早後

きのふ公職者の噘起望む道政懇談曹

三四%、全北の三大%である。併 の御歌見も何つて出來るだけ努力 膨胀況を眺めると相能の浮動脳質

るから残々としては大いに各方面

ゐる、殊に最近の朝鮮銀行物の此

し各遺とも白々條件が異なってを

し得る別述しです、併し本年度の 重松部長 今のやうな状態 弾力に貯蓄の動行を押し組めて行してをるのです 力が住じてゐると考へられるので 重松部長 只有のお話では

場の回じ場い必要を公ます なつて頑張り通した取果だと原 粉部長、大山理財際長台首 い肌をあげつく

餘裕。などは問題外

今年度十二億飽くまで突破

20日に百萬國の帰郷を攻しまして、長瀬古畑地がですか小米の天司 一日闘も必つてその一勝五分を火 で貯蓄は積極的に努力しないとい

村本府管理課長 貯蓄の狀態一般についてお

國債約を製出すといふやうに新し の増加といふものがその後出て來

ても脱離もあれば巡洋戦もある縣ので、企業機能、殊に金山の整備と、当成園ですがそれに貨物道では口

四千萬四を目標都にしてをり、

例へば米に動する疑励金の場上げると、目標額の動質は三千世

先づ黄海道から

かう一戦力爆戦、突襲増隆の前提であり

出席者 (京級語海班) 出席者 (京級語海班)

(解を飛行、日川洋桜)

用お砂糖配給

ロクロ工場新設

入間を見たので、

図の温機

第五拾九回決算公告 寶五治九回決算公告

芝液

國防献金 本社寄託献金

-廿二日以

千百六十



智节

KB

門六乾タマエさん▲自山 間盟

蜂蜜需要家儿 変音致します

滿菱

≥ 示社 』種

一蜂

一部

洋紡績株式會社

業務用より家庭用

荷**造包装**

館樂喜館花浪 座富新 座日朝 館畵映信和 場劇央中 場劇南城 座治明 場劇日京 劇

母調の記号を対している。

榮圖樂

男女事務員採用

京 | 場劇一第 | 場劇陸犬 | 場劇洋東 | 場劇花桃

ランオが

族

院病管(四龍田)二町元城京番大二番龍電



三度の食事毎に一銭

の切替をせよ

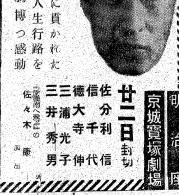
瀬戸京畿道知事語る

毎月缺かさず五十圓

新たな關心

十に景音を海き高潮黑・A 憧の君諸年少 22 日リ 記流漂の險胃と氣勇な語が年少の人二 22 日リ 群を の母の美しき強くの 決戦下、見よ日本









東條首相、烈々の訓示(地方長官會議)

時は猶豫、計さず 勝敗の歸趨、紙一重 東條首相、烈々の訓示

思想に願べかことを認みるの。を代的かることは不可能なりと地、俗葉、も許さない。な優がさくない飲むらに統制。私は彼らの希望する近くいの歌詩、必勝、のためには、一の劇と、低いたされら、致生の一至るに先立ち日本を吹きつけなけ、間を加べるはかりである。

首相、國民の敢鬪要望

撃墜十五機(內不確實七機) 炎上又は撃破や七機

人の能力もとより大事であるがこ

敵機三十二を撃墜破

御能定を仰ぐことに取運 関する具際円槽の見地より政府 高殊に配空機の 生産部門の映图 の増頭に至大



米四四・新建二七多 印二二首 第三八十 史五〇 先五〇版 の五〇頁 を五〇 頁 八字在劉張仰行 息 ルビ拓東的学内島町優秀原東 會協本日 祭 國 所行連 ※MOCTPUT道線管施 春原 水料 大リ 食慾不進 消化不良 身心の疲勞 口中殺菌 デナル香水 口熱口臭 身心の爽快 安藤井筒堂 0

輕金增產協議

丸太で頑丈な要塞

今ぞ知る日本軍の實力

敞側の傳へるタラワ島激戦記

二日目官廳側 日はマグネシュームカーボン酸火

通計五十件の見込

法律案全部を決定

廿一日をもうで玉体繁節を気定 込めである、本日鉄定せる十一田十五)の夏郷化をよしてあるので べきに前裏に記計五十件となる見

開心と緊急に選びかり、 のではい切って思い切って、 のではい切って来 のではい切って来 のでは、 のでは、

を進める所件で

関係ならに追

▲五日 (端館本記) 陽簾所經常に

大東亞解令(廿二日) 大東亞解令(廿二日) 東亞司政長官(山經)第三 大東亞哥蒂哥官(1) 大東亞哥蒂哥官(1)

の冬ふ戦 一級でとめ、概を含る 数単に於て一頭地を のである。 全國 護店にあり 乗倒 五十級・二周

店商即三得井藤 龘 町島豊富田岬原東 舖本

歌によって触決せらると場合が観めて大なるものがある。当や職法 な大東部顕新記念の大勝既となっ とれを賦力化するには海上融及に 受たなければならない、また選く

万長官の判断表



数生産部町の内型生産場所とな

は海盛更代之

歌が面の全般に

が生産の質行に



信(確定を)は関節

初の女流作品

火の氣拔きで

難けて感慨してあるが、現にこれ

別品を取得しこれらの能力を決職 | 際不要不渝の旅行は地

旅客列車一部取消から電気

給水時間改正

異献納に起つ滿洲國

「総態原の習言高く城大、東墨」「勝に堪へません、害さんの謎

ふ來る日の忠誠 ける皇太子様御誕生養職大會

海鷲の検査

し、また禁忌衛性労働の一階級

心家紋を創れ

皇民運動に高橋さんが提唱

吾が家の

源信局では押泊る年末に一般の利 | 根像以上に待たされる監督にあう 金受排事務を平日の通り取扱な

僕心少年志願兵 防長青少年蹶起誓ふ

終別はが取消となるから、旅行者一個質局ではこれを契機として信誉

京日俳塩 高泉を子屋 温光の魔宝つすぐ初御祭 銀附師 中島 職家 アメリカの店は比はの舞びをは比はの舞びをのって、このでいます。この

在原一路七千人, 即是試六千人, 即是試六千人, 即是試六千人, 納献機百 /進驀 釶 證明 龜城郡食糧配 日窒燃料工業(製青水工場 朔 州 娍 二醫油味噌釀造組合 郡 水組江界事務所 組町 水 食 糧 利 配 給組合 給 組 組 合 合 - 合



く 脚のやうにか きうすると様 Munimum.





店

山本源作商店

京城府明治町

歳末の日曜は返上

郵便局の窓口が奉仕

小高下

況

解(書)

えない。 したんだら タイピスト戦奏集

に遊女屋へ連 て來る。が、 の後のことに 引越何遺。 丸二組

甲斐計理事務所

完備實來運搬部 一二八八番

松宮特計事務所 引越前重量は幾級領

